

「TEAM EXPO 2025」プログラム  
共創チャレンジ推進報告



## 「ステハジ」プロジェクト

“使い捨ては恥ずかしい” という考え方を通して  
誰でも (Everyone) (子供から高齢者・企業・自治体など)、  
毎日 (Everyday) どこでも (Everywhere) 少しの意識と行動で、  
海洋プラスチック問題や使い捨てから生まれる、その他様々な社会課題を  
個人・企業・自治体が一体となって啓発・実践し  
みなさんと一緒に行動変容に取り組むプロジェクトです。

「さあ、みんなで サステナブル ハジメヨウ」



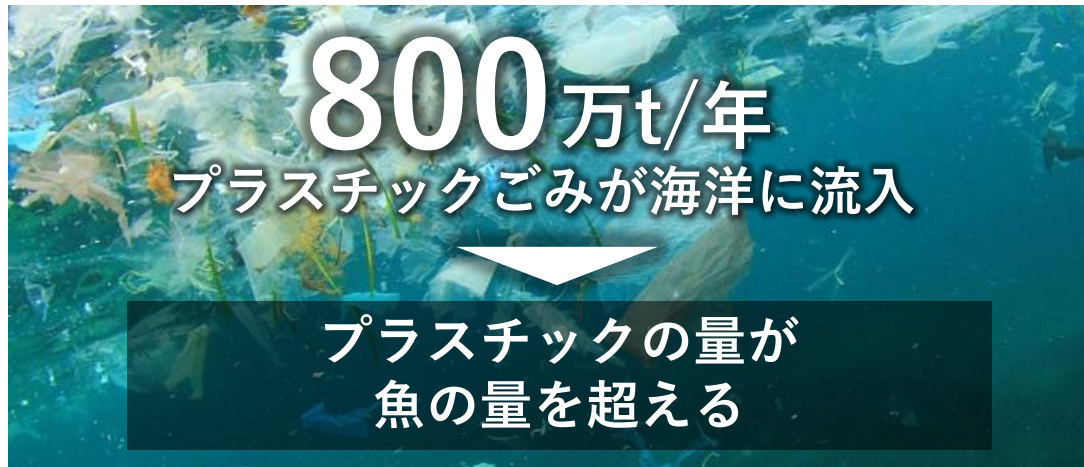
※ステハジプロジェクトはOSGコーポレーションの商標登録です

専門的な知識や情報がなくても、子供から高齢者まで、全ての世代が一緒になって取組める

「TEAM EXPO 2025」プログラム  
OSGが啓発する 2つの共創チャレンジ

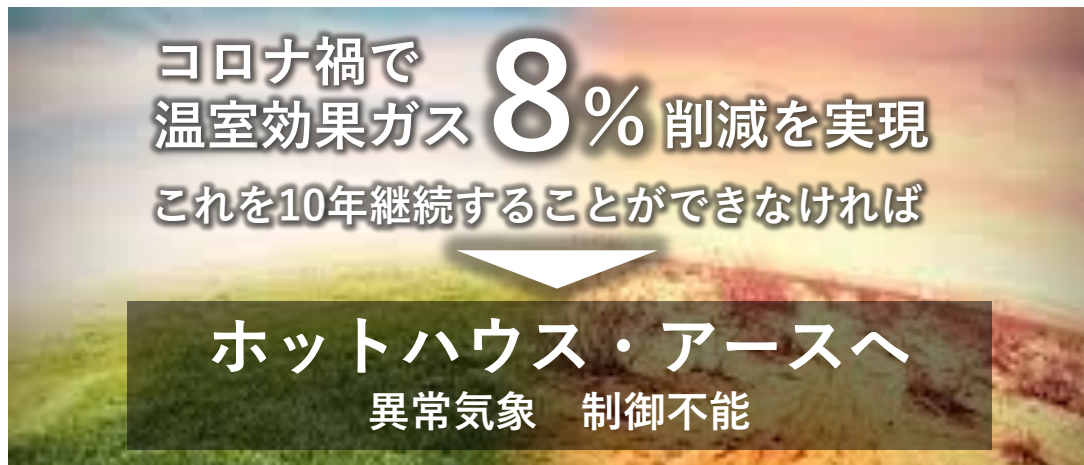
TEAM  
EXPO  
2025

〈宣言〉



**800万t/年**  
プラスチックごみが海洋に流入

プラスチックの量が  
魚の量を超える



コロナ禍で  
温室効果ガス **8%** 削減を実現  
これを10年継続することができなければ

ホットハウス・アースへ  
異常気象 制御不能



## 使い捨てプラ25%削減

※環境省：2019年「プラスチック資源循環戦略」



## 気温上昇1.5°Cに抑える

※パリ協定：2015年「国連気候変動枠組条約」

世界が直面する社会的問題に対して OSGは・・・



1 「ステハジ」プロジェクト  
「ペットボトル50億本削減」チャレンジ



2 「ステハジ」プロジェクト  
「みんなで広げる給水スポット」チャレンジ



1 「ステハジ」プロジェクト  
「ペットボトル50億本削減」チャレンジ



「社会貢献型商品」の普及  
脱炭素(CO2)問題対策

マイボトルでの  
飲み物の持ち歩きの普及

学校関連との連携  
「SDGs子供先生」



いつでも、中身が無くなれば給水する。そんな新しい日常（未来）のスタートです。



「ステハジ」プロジェクト  
2 「みんなで広げる給水スポット」チャレンジ



## 「みんなで拡げる給水スポット」

給水スポットが、より身近な場所へ

いつも立ち寄る

企業／学校／交通機関／公共施設／飲食店 などが

給水スポットになります。

“私の” “私たちの” “みんなの”給水スポットとして拡げて行きます。



## 「給水スポット」を給水サイトに登録

給水スポットとして給水サイトへ登録しよう。  
それは、私の、私たちの「地域貢献」につながります。

いつでも、どこでも給水できるエリアが広がれば、  
「ごみ削減・顧客満足・ブランド向上」につながります。



## Water Map

外出先で一番近くの給水スポットを紹介してくれるWater Map。「ペットボトルを買う」から、「無くなれば給水する」へ。新しい日常(未来)のスタートです。



こちらから  
アクセス!



<https://mizumap.jp/en/>



水のチャージ!  
どこでも、無料で。



マイボトルにお水を  
給水できる場所を確認!

飲んだ水の量も!

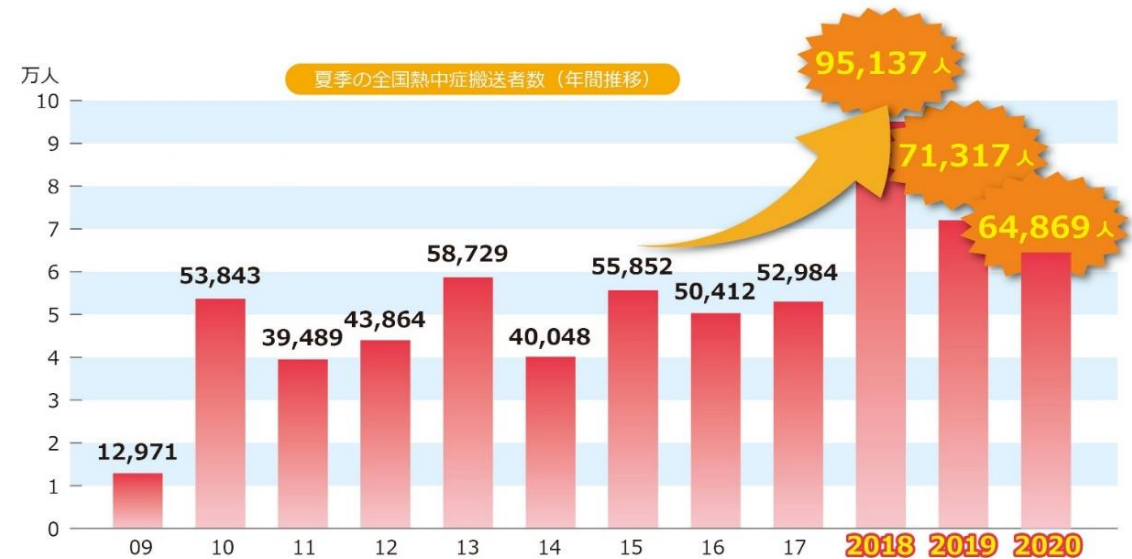
使い捨てボトルの代わりに、  
マイボトルを使うことによって、  
どれだけ環境に貢献できたのかも分かる!

日本初無料給水アプリを  
すぐダウンロード!



## 「夏の社会的健康課題“熱中症”」の予防対策に

熱中症は、  
2015年以降、5万人を超える人達が緊急搬送されています。  
しかし、熱中症は誰でも対策を行えば予防ができます。  
その対策の一つに「こまめな水分補給」を行うことは欠かせません。  
いつでも、どこでも給水できる環境は、  
熱中症対策にもつながっています。



※2009～12年は7～9月、13～14年は6～9月、15～19年は5～9月の統計。（総務省消防庁資料より 2020年）

2 飢餓を  
ゼロに



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



1 貧困を  
なくそう



5 ジェンダー平等を  
実現しよう



3 すべての人に  
健康と福祉を



12 つくる責任  
つかう責任



15 陸の豊かさも  
守ろう



6 安全な水とトイレ  
を世界中に




7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



10 人や国の不平等  
をなくそう



8 働きがいも  
経済成長も



14 海の豊かさを  
守ろう



11 住み続けられる  
まちづくりを



16 平和と公正を  
すべての人に



4 質の高い教育を  
みんなに



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



13 気候変動に  
具体的な対策を

